

第5章 県民参加型環境教育・学習の推進

今日の環境問題は、生活排水による水質汚濁や自動車の利用増大による大気汚染・騒音、消費の拡大による廃棄物の増大など身近な問題から、地球温暖化、オゾン層の破壊などの地球規模の問題まで、複雑多様化しており、これらの環境問題に対応するためには、県民一人一人が日常生活と環境との関係について理解と認識を深め、環境に配慮した責任ある行動をとることが不可欠と考えられる。

このため、家庭、学校、地域など多様な場で、それぞれ年齢階層に応じた環境教育・環境学習の推進が必要である。

第1節 学習機会の拡充

1 環境マイスター派遣事業

県民が自主的に環境学習に取り組む際の支援制度として、県内に在住する環境活動のリーダーや研究者など86人を専門分野別に「環境マイスター」として登録し、学校（保護者団体を含む。）、地域の環境活動グループ、自治・町内会、事業者団体等が学習会や講演会などを開催する場合に、マイスターを講師として派遣している。17年度の派遣実績は、37回であった。

- ・派遣先 地域環境活動グループ、学校（保護者団体含む。）、自治・町内会、その他事業者団体等が行う環境学習会等で、県民を対象として、参加者が概ね20名以上で、政治、宗教又は営利を目的としないもの。
- ・申請等窓口 派遣を希望する団体等の受付や、派遣に適した環境マイスターの選定等は、愛媛県体験型環境学習センター（えひめエコ・ハウス）のエコライフ推進員が行う。
- ・登録者内訳 事業系環境保全部門26人 生活環境保全部門23人 自然環境保全部門37人
- ・派遣経費 環境マイスターの派遣に要する経費（謝金）は、県が負担する。



環境マイスター活動状況

2 えひめ環境大学

環境関連の実務者や環境保全活動者などに、より高度な環境知識を修得してもらうため、学識経験者や環境分野の専門家を講師として迎え、専門的で質の高い講義内容の「えひめ環境大学」を実施した。平成17年度は、メインテーマを「次世代を担う子どもたちの未来を考える」とし、下記のとおり開催した。受講者は116人で、5回中4回以上の受講者には修了証書を交付した。

表 2 - 13 - 1 えひめ環境大学の開催実績

回	月 日	講 師	演 題
1	7月30日(土) 【13:30～16:00】	北海道大学 公共政策大学院教授	「次世代を担う子どもたちの今から、 世界の未来を考える。」
2	8月6日(土) 【13:30～16:00】	千葉道大学大学院 医学研究院教授	「胎児の複合汚染と未来世代のための対策」
3	8月20日(土) 【13:30～16:00】	弁護士(中央大学大学院 法務研究科客員講師)	「子ども環境保健法の制定をめざして」
4	9月3日(土) 【13:30～16:00】	東京都神経科学総合研究所 客員研究員 黒田 洋一郎	「子どもの脳と発達障害」
5	9月10日(土) 【13:30～16:00】	愛媛県環境創造センター 所 長	「子どもをとりまく環境と食生活 並びに全5回の総合討論」

3 生涯学習講座開設事業(コミュニティ・カレッジ:環境講座)

県民が、心の豊かさや教養を高め、また、実用的な知識や技術を習得するために、年齢、性別、職業を問わず気軽に学習できる場として、豊富な学習項目と質の高い内容を備えた講座を開催するコミュニティ・カレッジを、生涯学習センター、総合科学博物館及び歴史文化博物館において開設している。

「環境講座」は社会参画や現代社会の諸問題を解決していくための学習(教養・特別コース)の一つとして実施しており、平成17年度は「身の回りの環境保全の観点から学習し、私たちのライフスタイルを考える」ことをテーマとして、表1～3のとおり開催した。

表 1 環境講座(コミュニティ・カレッジ)の開催実績(生涯学習センター)

年月日	内 容(テーマ)	講 師
H17.10.16	千年の森をつくる生き方	愛媛大学大学院農学研究科 助教授
H17.10.30	熟年の知恵と環境教育 - 自然から学ぶ人間の暮らし -	日本野鳥の会愛媛県支部 顧問 (愛媛県環境マイスター)
H17.11.13	「私が変わります」が地球を守る	愛媛大学農学部 教授 脇本 忠明
H17.11.27	現地学習「愛媛県体験型環境学習」	愛媛県体験型環境学習センター 職員
H17.12.11	生活から環境を考える	愛媛県環境創造センター 所長
H18. 1.15	ドイツ・フライブルク市の環境への取り組み	松山フライブルク会 副会長 (愛媛県環境マイスター)
H18. 1.29	地域・国際・環境・平和 ～未来につながる学びを見つめて～	「持続可能な開発のための教育の10年」 推進会議 理事 えひめグローバルネットワーク 代表 (愛媛県環境マイスター)
H18. 2.12	野生生物と共存するために	松山東雲短期大学 教授 (愛媛県環境マイスター)

表2 環境講座（東予コミュニティ・カレッジ）の開催実績（総合科学博物館）

年月日	内 容（テーマ）	講 師
H17. 9. 3	消費生活から環境問題を考える	愛媛県環境マイスター
H17. 9.24	ごみゼロ社会を目指して	愛媛県環境マイスター
H17.10.22	愛媛の海岸動物	愛媛県環境マイスター
H17.11.12	循環型社会と産業廃棄物	(社)愛媛県産業廃棄物協会 会長 (愛媛県環境マイスター)
H17.12. 3	善意が引き起こす環境破壊	愛媛県総合科学博物館 主任学芸員
H18. 1. 7	愛媛県における鳥獣の生息状況とその保全	愛媛県総合科学博物館 学芸員 山本 貴仁
H18. 1.28	森のなりたち・森とのかかわり - 環境と森を考える -	四国森林インストラクター会 会長 (愛媛県環境マイスター)
H18. 2. 4	生活から環境を考える	愛媛県環境創造センター 所長 立川 涼

表3 環境講座（南予コミュニティ・カレッジ）の開催実績（歴史文化博物館）

年月日	内 容（テーマ）	講 師
H17. 8. 6	廃棄物処理とリサイクル	(株)都市計画研究所中四国 代表取締役 (愛媛県環境マイスター)
H17. 9.10	フライブルクの環境政策	松山フライブルク会 副会長 (愛媛県環境マイスター)
H17.10.15	地球環境問題について	愛媛大学農学部 教授
H17.11.12	環境保護と環境教育の原点 - 鳥類から学ぶ人間の暮らし -	日本野鳥の会愛媛県支部 顧問 (愛媛県環境マイスター)
H17.12.17	里山が育んだ自然と文化	松山東雲短期大学 教授 (愛媛県環境マイスター)
H18. 1.28	地球温暖化防止策としての省エネルギー	えひめ生活センター友の会 松山支部長 (愛媛県環境マイスター)
H18. 2.18	森のなりたち・森とのかかわり - 環境と森について考える -	四国森林インストラクター会 会長 (愛媛県環境マイスター)
H18. 3. 4	身近な生活と環境問題	愛媛県環境創造センター 所長 立川 涼

4 こどもエコクラブ事業

持続可能な社会を創るためには、21世紀を担う子ども達が将来にわたり環境を大切にする意識を持ち、環境にやさしい暮らし方を実践していくことが必要であるため、環境省では、平成7年度から「こどもエコクラブ」事業を通じて、子ども達の地域の中での主体的な環境の学習や実践活動を支援し、県では、その普及啓発を図っている。平成18年3月31日現在の登録数は、6市4

町、55クラブで会員数1,385人である。

5 四国ジュニア環境教育推進事業

(1) 趣 旨

四国4県が連携して環境教育についての合同事業を実施することにより、海や山、川など先祖が守り引き継いできた四国の優れた環境を、四国4県の共通の財産として、相互に協力しながら、守り続けようとする意識や態度を子どもたちに育む。

(2) 事業内容

環境教育連携協力校への支援及び連携協力校の相互交流の促進

「四国ジュニア環境サミット」の開催

環境教育についての普及・啓発活動

その他、4県連携による環境教育の推進に関すること

(3) 環境教育連携協力校（平成16・17年度指定）について

目 的

4県に小・中・高等学校39校の環境教育連携協力校（以下「連携協力校」という）を指定し、各校における環境学習についての研究実践を促すとともに、その成果を四国の各学校へ情報提供することにより、各県における環境教育の充実に資する。

県内環境教育連携協力校の研究テーマ

小学校（5校）、中学校（3校）、高等学校（2校）計10校

新居浜市立垣生小学校「心身ともに豊かで、たくましい児童の育成 - 循環型社会を築く活動を通して - 」

今治市立国分小学校「人・自然・社会とふれあい、国分の里を愛する心豊かな子どもを育てる」

東温市立西谷小学校「主体的に考え、行動するたくましい児童の育成 - 自然や地域とかわる活動を通して - 」

西予市立蔵貫小学校「よりよい環境づくりに主体的に取り組む児童の育成 - 自然や地域とのかかわり、環境保全に向けた活動を通して - 」

宇和島市立天神小学校「環境問題に関心を持ち、環境の保全や創造のため主体的に行動する児童の育成 - 自然や環境の保全に関わる活動を通して - 」

今治市立伯方中学校「In Action!! ~ふるさと伯方から~ - ‘ふるさと伯方’の自然環境を愛する心を養い、よりよく生きるための課題を見つけ、実践することのできる生徒の育成 - 」

松前町立北伊予中学校「自ら課題を持ち、たくましく行動できる生徒の育成 - 地域との連携を生かした環境保護活動を通して - 」

八幡浜市立双岩中学校「地域の中で生き生きと活動できる生徒の育成 - ホタルの保護・観察やボランティア活動を通して - 」

愛媛県立丹原高等学校「ともに歩む環境教育 - 心のふるさと丹原町 - 」

愛媛県立北条高等学校「自然環境を守る生徒の育成 - 自然環境の調査研究を通して - 」

研究内容

連携協力校は、地域や児童生徒の実態に応じ、次に掲げる学習に取り組んでいる。

生活環境（美化、水質、大気汚染、騒音等）

自然環境（飼育栽培、生き物、森林等）

地球環境（温暖化、酸性雨等）

循環型社会（節電節水リサイクルゴミ減量等）

(4) 平成17年度「四国ジュニア環境サミット」の開催について

目 的

四国の環境についての現地研修会を行ったり、環境学習の実践発表をしたりすることにより、互いの交流を深め、四国の環境を守り続けようとする意識や態度の育成を図る。

開催時期 平成17年8月23日・24日

内 容

環境学習（徳島県立佐那河内いきものふれあいの里「自然観察」）

子ども環境フォーラム（各校の発表）

講演 鳴門教育大学 教授 近森憲助

「環境学習での学び ～環境、つながり、そして生きること～」

6 高等学校環境教育推進事業

環境教育の一層の充実を図るため、「高等学校環境教育推進事業」を平成13年度から平成17年度までの5年間実施した。

この事業では、身近な環境問題に積極的に取り組み、地球的・国際的視野を持って実践することができる生徒の育成と各校でのリーダーとなる生徒の養成を目的として、研究を指定校において実践的な研究を行うとともに、「愛媛の高校生環境サミット」を開催し研究成果の普及に努めた。

(1) 高等学校環境教育実践研究校

概 要

平成13年度から5か年で、すべての県立高等学校全日制57校で環境教育についての研究を行い、環境教育の充実を図ることを目的として事業を推進してきたが、平成17年度には残りの13校を環境教育実践研究校に指定し、研究・実践を行った。

環境教育実践研究校は、次に示す六つの分野の中から、1分野を選び、生徒や学校の実態を踏まえた高校生にふさわしい具体的なテーマを設定して、家庭や地域との連携を図りながら計画的・継続的に研究を行うこととしている。

《研究分野》

- ア 河川や海洋に関する分野
- イ 土壌や動・植物に関する分野
- ウ 酸性雨や大気に関する分野
- エ 廃棄物に関する分野
- オ 国際的な環境に関する分野
- カ その他の分野

平成17年度高等学校環境教育実践研究校の取組

環境教育実践研究校では、生徒や学校の実態を踏まえ、高校生らしい深まりのある探究活動を通して熱心に環境問題について取り組んだ。各学校の取組は表2-13-3のとおりである。

表2-13-3

学 校 名	研究分野	研究テーマ	研 究 の 取 組 内 容
三 島 高 校	廃棄物に関する分野	地域に根ざした身近な環境問題への取組	<ul style="list-style-type: none"> ・翠波高原でのコスモス植え ・国道バイパスの花植え ・地域製紙企業の見学
新居浜西高校	その他の分野	地域に根ざし、地域と一体となった環境学習	<ul style="list-style-type: none"> ・環境をテーマとした大学出張講義 ・奉仕活動を通しての地域と一体となった環境活動 ・市内の河川の水質と水生生物の調査
西 条 高 校	河川や海洋に関する分野	道前平野の水質調査	<ul style="list-style-type: none"> ・加茂川とその周辺の地下水の水質調査 ・酸性雨の調査 ・大気汚染の調査
西条農業高校	その他の分野	私たちにできる環境学習 - 水と環境を考える -	<ul style="list-style-type: none"> ・棚田と水を通して里山の環境についての調査・研究 ・奉仕活動 ・森林環境保全についての学習
東 予 高 校	酸性雨や大気に関する分野	学校周辺の交通事情と大気の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・交通事情と大気汚染の相互関係の考察 ・日本各地の酸性雨の状況と学校周辺との比較検討 ・「環境だより」の発行
伯 方 高 校	廃棄物に関する分野	ごみ問題とリサイクル	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみ処理の方法についての調査 ・ごみ処理施設等の見学 ・身近なりサイクルに挑戦
松 山 南 高 校	その他の分野	松南高エコプロジェクト ～今と未来を考える行動派の育成をめざして～	<ul style="list-style-type: none"> ・校内の環境についての実態調査・意識調査 ・微生物による環境浄化に関する研究 ・空中花粉、河川生物に関する研究
松山商業高校	その他の分野	私たちにできる環境問題への取組 - ごみの分別の徹底とEM菌による環境問題意	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみ問題に関する意識調査の実施 ・環境標語・環境ポスターの募集 ・EM菌の配布
伊 予 高 校	その他の分野	環境意識の高揚と環境に優しい学校づくりへの取組	<ul style="list-style-type: none"> ・地球に優しいエネルギー利用についての研究 ・学校周辺の道路や農業用水路の清掃 ・節電の呼びかけ
大洲農業高校	河川や海洋に関する分野	学校と地域・行政とのネットワークづくり - 肱川環境美化活動を通して -	<ul style="list-style-type: none"> ・花いっぱい運動の推進 ・肱川水質浄化研究 ・河川環境美化活動の推進
川之石高校	廃棄物に関する分野	私たちにできる環境問題への取組 - ごみゼロを目指して -	<ul style="list-style-type: none"> ・「ごみゼロ運動」啓発活動 ・生ごみからの土壌づくり ・清掃奉仕活動
宇 和 高 校	その他の分野	私たちにできる環境美化活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームルーム活動における環境美化についての取組 ・EM資材による土壌・水質の再生 ・竹炭による環境美化活動
南宇和高校	その他の分野	自然に恵まれた地域環境を豊かに保つことを目指して	<ul style="list-style-type: none"> ・河川の水質調査及び雨の酸性度調査 ・廃油石けん作り ・ボランティア活動

(2) 愛媛の高校生環境サミット

目 的

すべての県立高校全日制57校の代表生徒が参加し、環境教育実践研究校の研究発表、各校の課題や取組についての研究協議及び先進的な取組をしている講師による講演等を通して、環境教育の改善や充実を図る。

大会の開催

平成18年2月15日に、にぎたつ会館において「愛媛の高校生環境サミット」を開催し、実践研究校代表生徒が各校の活動状況や成果を発表したり、「環境問題への取組から学んだこと」をテーマにパネルディスカッションを行ったりして学習を深めるとともに、「第2回あいテレビ三浦保環境賞」に選ばれた「松山淡水ベントス研究所」主宰桑田一男先生の講演を通して、自校の取組を見直し、より充実させていくための方法等について考えることができた。

第2節 多様な環境情報の収集と提供

1 えひめの環境ホームページ

本県の環境情報を県民に広く提供するために、「えひめの環境ホームページ」を平成15年3月に、より見やすくリニューアルした。このホームページでは、環境施策全般に関するお知らせ、環境白書、環境関係条例、要綱、環境影響評価等の情報を提供し、随時、内容の更新を行っており、様々な環境情報を見ることができる。



URL <http://www.pref.ehime.jp/kankyou/k-hp/index.html>

2 環境地理情報システム（環境GIS）

環境白書等に掲載している本県の環境情報等を地図上に重ね合わせて提供する「環境地理情報システム（環境GIS）」を構築し、インターネット上で提供する体制を整備した。

このシステムでは、環境教育・学習の振興や県民・事業者による環境保全活動の活性化を目的として、大気、水質等の観測データ、各種規制区域、自然公園区域等の区域データ、えひめ自然100選等の施設データ、文化財の名称・関連資料などの情報を、地図上のポイントをクリックすることにより呼び出すことができる。

URL <http://envgisv02.pref.ehime.jp/>

3 環境創造センターホームページ

環境創造センターの取組みや、客員研究員が持つ様々な研究情報をホームページへ掲載し、情報発信している。

URL <http://www.pref.ehime.jp/030kenminkankyou/060kankyou/00004434040203/souzou/>

4 愛媛県原子力情報ホームページ

県の放射線監視テレメータシステムで常時収集している伊方発電所周辺測定局の放射線データ（空間放射線線量率等）等を、リアルタイムで提供している。

また、伊方発電所の運転状況等の最新データ、伊方発電所の異常時通報連絡に係る県の報道発表資料、伊方原子力発電所環境安全管理委員会の開催状況等の原子力情報を、随時提供している。

URL <http://etelmtsv.pref.ehime.jp/>

5 えひめの循環型社会づくりホームページ

県内における廃棄物の減量化・リサイクルに関する取組を促進するため、3Rイベント・グループ及びリサイクル製品の紹介や循環資源交換情報などを盛り込んだ「えひめの循環型社会づくり」ホームページを作成し、広く県民に情報提供している。

URL <http://www.pref.ehime.jp/030kenminkankyou/140junkanshakai/00004731040517/index.html>

6 愛媛県バイオマスのホームページ

環境先進県を目指す県では、えひめバイオマス利活用マスタープランを策定し、大気中の二酸化炭素を増加させず、持続的に再生可能な資源であるバイオマス資源の利活用に積極的に取り組んでいる。

この県の取組を紹介するため「愛媛県バイオマス」のホームページを作成し、広く県民に情報提供している。

U R L [http://www.pref.ehime.jp/030kenminkankyou/
060kankyou/00007099050804/biomain.htm](http://www.pref.ehime.jp/030kenminkankyou/060kankyou/00007099050804/biomain.htm)

7 P R T R（化学物質排出把握管理促進法）のホームページ

化学物質は便利で快適な生活になくてはならないものであるが、それが環境に派出されたときに人の健康や生態系にどのような影響を及ぼすのかまだよく分かっていないものがある。そこで、どんな化学物質がどこからどれだけ大気や水域に排出されているのかを把握する仕組みとしてP R T Rが作られた。

このP R T Rの制度の紹介や過去の集計掲載した「P R T R（化学物質排出把握管理促進法）」のホームページを作成し、広く県民に情報提供している。

U R L [http://www.pref.ehime.jp/030kenminkankyou/
060kankyou/00005442040812/PRTRmain.htm](http://www.pref.ehime.jp/030kenminkankyou/060kankyou/00005442040812/PRTRmain.htm)

8 地球環境の保全に関する情報提供

愛媛県体験型環境学習センター（えひめエコ・ハウス）パンフレット

- ・ 内 容 地球温暖化を防止する第一歩を支援する施設として開設された愛媛県体験型環境学習センター（えひめエコ・ハウス）の紹介
- ・ 規格及び部数 A 4 版 8 ページ 10,000部
- ・ 配 布 先 県関係機関、市町、小中学校等

9 えひめ環境家計簿ホームページ

家庭から排出される二酸化炭素の量が簡単に計算できる環境家計簿や省エネ診断、エコライフのアイデアBANKなど、楽しみながらライフスタイルチェックができるホームページを作成し、情報提供している。

U R L [http://www.pref.ehime.jp/030kenminkankyou/010kenminkouryu/
00006193050309/index.html](http://www.pref.ehime.jp/030kenminkankyou/010kenminkouryu/00006193050309/index.html)

第3節 環境保全意識の高揚

1 環境啓発ポスターコンクール

環境教育の一環として環境啓発ポスターを小・中・高校生を対象に募集し、優秀作品を地球温暖化防止フェスティバルや環境白書等へ掲示し、県民の環境意識の高揚を図った。

- ・ 募集対象 県内小学生・中学生・高校生
- ・ 募集期間 平成17年7月4日（月）～平成17年9月15日（木）
- ・ 応募点数 373点（小学生230点、中学生101点、高校生42点）
- ・ 金賞 3点（小学生1点、中学生1点、高校生1点）
- ・ 銀賞 6点（小学生2点、中学生2点、高校生2点）
- ・ 銅賞 9点（小学生3点、中学生3点、高校生3点）
- ・ 佳作 9点（小学生3点、中学生3点、高校生3点）

2 クリーン愛媛運動

- ・ 目的 豊かな自然と風土に恵まれたふるさと愛媛の住みよい快適な生活環境を創造する。
- ・ 運動内容 昭和52年度から7月をクリーン愛媛運動強調月間、また、国が定めた環境衛生週間（9月24日～10月1日）中を秋のクリーン愛媛運動実施週間とし、県民意識の啓発と県民総参加による河川、海岸、道路、公園等公共施設などの清掃美化活動を展開しており、平成17年度は、延べ約26万8500人の県民の参加を得て環境美化活動を実施した。

3 えひめ環境賞顕彰事業

環境先進県えひめを目指す愛媛県では、平成16年度にえひめ環境賞を創設し、地域の住民、団体及び企業が自主的かつ主体的に取り組んでいる、17年度も環境保全活動及び環境創造活動、環境保全及び環境創造の意欲の増進並びに環境教育に貢献のあったものを表彰し、県民全体の環境に対する保全及び創造の意識の醸成に促進を図った。

表彰の対象 地域の環境保全及び環境創造活動に貢献のあったもの
地域の環境保全及び環境創造活動の意欲の増進に貢献のあったもの
地域の環境教育に貢献のあったもの

平成17年度の受賞者 広見川夢の会（鬼北町）
小澤 潤（今治市）



(左)表彰式（左端から、広見川夢の会
葛川事務局長、知事、小澤潤氏）
(右)広見川夢の会（魚の稚魚の放流・
鬼北町）

4 自然保護思想の普及啓発

県内のすぐれた自然を県民共通の財産として守り、育て、次の世代に引き継いでいくために、自然保護思想の普及啓発に努めている。

愛鳥ポスターコンクール

愛鳥週間（5月10日～16日）を機会に、広く県下の児童及び生徒から愛鳥週間用ポスター原画を募集し、その製作過程を通じて野生鳥類について保護思想を高めるとともに、一般県民への普及、啓発を図るため、愛鳥ポスターコンクールを実施しており、平成17年度の応募及び表彰状況は次のとおりである。

・応募者数 185名（33校）

（内訳）小学校： 84人（10校）

中学校： 41人（11校）

高等学校： 60人（12校）

・入選者数

金賞（知事賞）：9点（小学校3、中学校3、高等学校3）

銀賞（愛媛県自然保護協会会長賞）10点（小学校6、中学校2、高等学校2）

銅賞（ " " ）10点（小学校6、中学校2、高等学校2）

佳作（ " " ）10点（小学校3、中学校2、高等学校5）

5 省資源・省エネルギー運動推進事業

内閣府国民生活局からの「夏季（冬季）の省エネルギー対策について」（省エネルギー・省資源対策推進会議省庁連絡会議決定）の通知を受け、各種団体の代表である愛媛県省エネルギー運動県民会議の委員を通じて、会員等へ周知徹底し、省エネルギー意識の啓発と実践促進を図った。

また、省エネルギー月間である2月に、広報誌及び「えひめのくらしと物価」へ掲載することにより、省エネルギー意識の啓発と実践促進を図った。

6 くらしの中の省資源問題啓発事業

省資源・省エネルギー・リサイクル運動について、効果的な意識啓発や生活に根ざした実効性の高い運動を展開するため、資源の再利用研修会や省資源に関する講習会等を開催し、省資源についての意識啓発を行った。

・委託先 えひめ生活センター友の会

・実施状況 資源の再利用研修会・省資源に関する講習会・展示会等 14回（松山市他）

7 エコファミリー育成啓発事業

環境にやさしい買い物キャンペーン（10月）の実施やエコファミリー育成講座を開催し、資源の節約とゴミの減量化や家庭の省エネ意識の高揚を図り、環境に配慮したライフスタイルへの転換を推進した。

(1) 環境にやさしい買い物運動の推進

「買い物」を通して地球環境や廃棄物などの環境問題を考え、環境に配慮したライフスタイル

ルの実践を促進するために、マイバッグの持参や環境に配慮した商品の販売・購入、簡易包装の促進等を内容とする「環境にやさしい買い物キャンペーン」を10月に実施するとともに、「環境ラベル集めて応募懸賞」を実施した。

(2) エコファミリー育成講座の開催

各地方局ごとに、省資源・省エネルギー、グリーンコンシューマー等をテーマに意識啓発講座を開催（表2 - 13 - 4 参照）した。

表2 - 13 - 4

地方局	開催場所	開催年月日	参加者数
西条	西条地方局会議室	平成18年2月17日	34人
今治	今治地方局大会議室	平成17年10月26日	35人
松山	松山地方局会議室	平成17年9月13日	27人
八幡浜	野村中央公民館	平成18年1月24日	127人
宇和島	宇和島地方局大会議室	平成18年1月25日	72人